

響き

2016年8月発行 発行責任者
東京都地域密着型協議会
東京都グループホーム協議会 広報部

東京都地域密着型協議会 平成28年度 第1回 全体定例会

5月16日に定例会が行われました。今年度も当協議会の代表を務める、和田行男代表から挨拶で始まりました。

来賓挨拶で、東京都福祉保健局高齢社会対策部部長、西村さまよりご挨拶を頂きました。

その後の基調講演、厚生労働省老健局高齢者支援課認知症・虐待防止対策推進室、平井さまより「介護保険の現状と地域密着型サービスに期待すること」を表題に、介護保険の見直しに対し、「地域包括ケアシステムの推進」と「介護保険の持続性の確保」に取り組むことが重要と



話され、新オレンジプラン推進については、地域における認知症の理解を深める為の普及について「認知症サポーター養成講座」の重要性だったり認知症高齢者にやさしい地域作りにむけて、若年性認知症施策強化について、お話を頂きました。

その後のシンポジウム「東京都における認知症の人の保護」についてシンポジストとして

厚生労働省、平井さま 東京都から上野さま、警視庁の露木さま、コーディネーターとして当協議会、林田代表に急遽、和田代表が参加されシンポジウムが行われ、警視庁の露木様からは、

「警視庁は、今現在、署員に対し、認知症サポーター養成講座を受講させております。」と話されました。

今後、認知症高齢者が、外出し例え迷ったとしても、地域住民や警察が認知症高齢者の心理、気持ちを理解し関わることで、少しづつでも認知症の方の尊厳を受け入れられる様、社会全体が動き出していく定例会でした。

運営委員 坂田



平成28年度

第一回グループホーム基礎研修を開催しました！

平成28年6月29日（水）13時から16時まで、立川駅近くの三多摩労働会館にて、今年度最初の基礎研修を開催致しました。

都内各地より28名のご参加を頂き、大変盛況となりました。

第一部の講演では、医療法人社団つくし会統括責任者の高浜将之氏を講師に招き、【グループホームで認知症の入居者を支援することとは】というテーマをお話し頂きました。

グループホームの介護保険上の制度に始まり、認知症について学ぶ機会となりました。

第二部では講演内容をふまえて【認知症ケアで大切なことについて】グループで話し合い、発表するという形式をとりました。

食事の提供や施設の有無、事業所による差異に気付きながら、入居されている方への必要な支援を探ることができました。

最後に高浜氏、そして当協議会を代表し村松事務局長より受講生へ、専門職としての心構えを伝え、総括とさせて頂きました。



東京都地域密着型協議会
Tokyo community-based Council

<http://tokyo-chimitsuren.org>